

学年・教科	第2学年	技術・家庭（家庭分野）	担当者 相川 由圭
学習目標 ○生活や技術について関心をもち、生活を充実向上させるために進んで実行しようとする。 ○生活について見直し、課題の解決を目指して工夫し、創造することができる。 ○生活や技術に関する基礎的な知識を身につけ、生活と技術とのかかわりについて理解する。			
指導計画		学習内容	
「自分らしく清潔に着る」 ○日常着の手入れ ・生活に役立つものの製作		1 学 期	○基礎縫いの製作を通して、ほころび直しやボタンつけなどの方法を知り、実践できる。 ○自分の作品として工夫したデザインを考えることができる
「快適に住まう」 ○住まいのはたらき ○家族と共に住まう ○快適で快適に住まう ○自然と共に住まう		2 学 期	○自分の生活をふり返り、住まいの役割を理解する ○快適に住まうための具体的な実践方法を理解し、よりよい住まい方の工夫ができる。
「私たちの消費生活」 ○商品の選択と購入 ・商品を選ぶときの条件 ・販売方法と支払い方法 ・トラブルの解決 ○消費生活と環境 ・環境に配慮した生活		3 学 期	○消費者として必要な知識を身につけ、さまざまな場面で適切な行動がとれることができる。 ○選択、購入の際、環境に配慮した消費生活のくふうができる。
観点別評価の観点と主な評価方法について ○ 知識・技能 「学習プリントの記入内容、定期テスト」「学習過程における技能の習熟状況、完成した作品」などを評価します。 ○ 思考・判断・表現 「学習した内容の活用状況や実際の生活の場で工夫する力」「作品の製作過程や自己評価」などにより多面的に評価します。 ○ 主体的に学習に取り組む態度 「作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、レポートや家庭での実践記録」などを評価します。			
学習のアドバイス ・1週間に1時間しかない教科なので、授業を大切に集中して受けましょう。 ・授業で学んだことを知識として持つだけでなく、活かした力とするために家庭で実践しましょう。			